（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	さくらひがし木もれ日のぬくもり			
○保護者評価実施期間	2025年12月18日	～	2026年1月20日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	37	（回答者数）	24
○従業者評価実施期間	2025年12月18日	～	2026年1月20日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	11	（回答者数）	11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりを大切にして、個性や個人差があることを理解してその子どもへ支援させていただくという考え方を職員全員が共有できているという点。	「ほめ育て」「抱きしめ育て」「みとめ育て」の３つの育てを職員全体に共通の認識で、子ども一人ひとりへの関わり方を共有するように努めさせていただいております。	個人差や個性の違いについて、常に念頭に置いた職員教育を整備して、新入職員の雇い入れ時に同様の内容を周知できるように整備の強化を図っていきたいと思います。
2	専門性を高めるために、専門的支援の実施を含む専門的な計画の作成とそれらに準じた支援を提供できる点。	理学療法士等の専門職スタッフや経験保育士や経験児童指導員による専門的支援を積極的に取り入れさせていただいております。その中で個別集中的な支援によって、各領域において成長を実感させていただいております。	理学療法士等の専門職スタッフや経験保育士、経験児童指導員一人ひとりの専門的支援のスキルの向上を日々の専門的支援などの実践を通して高めていきたいと思います。
3	なによりも利用者様がみなさま、楽しんで通ってくださっているという点。	一人ひとりに寄り添い、子どもたちの話をよくよく聞き、受け入れられている実感を持ってもらえるような環境であること。また、木もれ日のぬくもりの居場所が楽しい場所であるという感覚をもってもらえるような環境を目指しています。	自由度が高いこととメリハリがあることを混合せずに、頑張るときは頑張って、遊ぶ時やゆったりするときは余裕を持って楽しむということを職員の方で促すことができると良いと思い、努めていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会などの保護者様の交流の場が整備できていない点。	父母の会という言葉が保護者様的にも職員的にも負担感を感じるところがあるのではないかという認識があり、会の設立というところについては積極的に進めることはできていませんでした。	保護者同士の交流の場ということでいえば、求めておられる印象がありますので、そういった場の提供ということでの企画としては検討を進めていきたいと思います。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を作ることができなかった点。	事業所の活動のルーチンの中で、放課後児童クラブや児童館などとの交流を意図的に能動的に関わろうと先方施設への働きかけを行う意識とそのための時間を取る意識が低かった。	日々の活動予定を策定する段階で、意図的に児童館などの職員さんに連絡をして、受け入れてくださる施設様との月間のプログラムの調整を進めるための相談をしていきたい。
3	家族支援としての実施はあるものの、ペアレントトレーニングについての企画を実施することが出来ていなかった点。	子育てサポート加算に関する支援の場を見学できる場を提供し、家庭でのペアレントトレーニングとしての相談援助ができることを保護者様にお知らせできていないところがある。 また、ペアレントトレーニングという言葉について広い意味で取り扱うことができていないところがあった。	子育てサポート加算としての支援の場を見学できることを保護者様にお知らせしていき、その結果としての広い意味でのペアレントトレーニングを保護者様に提供できるように検討したいと思います。